

山元町震災復興計画（現行計画）の評価にあたって

1 現行計画における進捗と課題

次期総合計画策定に向け、山元町震災復興計画（第5次総合計画）における前期行動計画（H23年度～H26年度）及び、後期行動計画（H26年度～H30年度）の進捗状況と現状を把握し、引き続き取り組むべき課題を整理します。

・行動計画は、下記の8つの「復興のポイントと方向性」に基づき構成されています。

- (1) 生活 ～心豊かな町民生活を実現する笑顔あふれるまち～
- (2) 産業 ～山元町ブランド産業を復興し、創造する活力あるまち～
- (3) 保健・福祉 ～充実した医療・福祉体制に支えられるまち～
- (4) 学校教育・生涯学習 ～家庭・地域・学校の協働のもとで夢と志を育むまち～
- (5) 防災・安全・安心 ～自助・共助による防災意識の高いまち～
- (6) 都市整備 ～災害に強く人にやさしい利便的なまち～
- (7) 環境 ～環境に配慮し、自然エネルギーを活用したまち～
- (8) 行財政運営 ～復旧・復興を最優先に行政サービスを提供するまち～

＜復興までの道のり＞

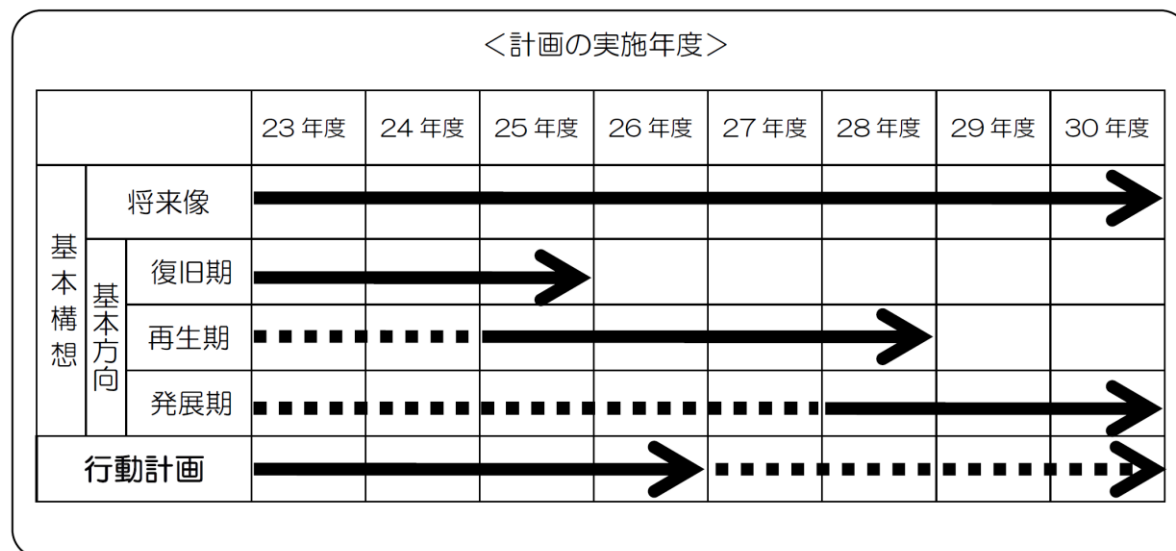
	復旧期（3年間）			再生期（4年間）		発展期（3年間）			
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
個人レベル	○仮設住宅等での生活 ○住宅の再建			○生活利便性の向上					
	○生活再建への取り組み			○新たなコミュニティの構築		○新たなコミュニティへの参加			
	○一定生活水準の確保			○満足できる生活水準の確保		○安定収入の確保			
地区レベル	○仮設住宅等の建設 ○公営住宅等の建設			○自治組織によるまちづくり					
	○行政との連携		○復興に向けた体制づくり		○自主防災組織の強化				
	○地域コミュニティの維持		○新たなコミュニティの形成		○創意工夫による地域振興				
町レベル	○復興計画の策定			○行政サービスの向上					
	○住宅地及び中心市街地の形成								
	○都市計画の策定		○インフラ整備の再構築		○新しい産業の実現				
	○災害復旧事業の実施		○産業基盤の整備		○新たな雇用の確保				

※以下は山元町震災復興計画より抜粋（山元町 HP より）

(2) 計画期間

計画の期間は、平成30年度までの概ね8年間とします。

さらに、被災者の支援と生活基盤や公共施設の復旧に取り組み、再生、発展にむけ復興の基盤を構築する「復旧期」（平成23～25年度）、震災の影響により低下した町の機能を回復させ、町全域がかつての姿を取り戻す「再生期」（平成25～28年度）、新たなまちづくりが進み、将来の発展に向かって戦略的に取り組みを推進していく「発展期」（平成28～30年度）をそれぞれ設定します。



(3) 計画の構成

計画は、①基本構想と②行動計画の2部構成とし、基本構想のうち基本方向は「復旧期」、「再生期」、「発展期」ごとに計画を定めます。行動計画は、「前期」、「後期」の2期に分け、計画を策定します。

① 基本構想

計画推進のための基本理念に基づき、目指すべき将来像（ビジョン）とそれを達成するための基本方向（ランドデザイン及び施策の方向性）を示すものです。また、計画をより効果的に実現するために、重点的、戦略的に主要課題に取り組む重点プロジェクトを定めています。

② 行動計画

基本構想を具現化するための具体的事業や数値目標及びスケジュールを示すものです。計画の実効性を確保するため、今回は「前期」4年分のみを策定し、「後期」4年分の計画については、後期、期間開始の前年度である平成26年度に定めることとします。